

日本スペイン外交関係樹立150周年記念 兵庫県政150周年記念事業  
**プラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光**  
 2018年6月13日(水)～10月14日(日)

スペイン、マドリッドにあるプラド美術館は、歴代スペイン国王による収集品を核に、1819年に開設された世界屈指の美の殿堂として知られています。本展は、西洋美術史上の巨匠ディエゴ・ベラスケス（1599～1660）による日本初公開を含む7点の大型作品を中心に、スペインをはじめイタリア、フランス、フランドル（現在のベルギー）の17世紀絵画など70点を紹介するものです。



ディエゴ・ベラスケス  
 《王太子バルタサル・カルロス騎馬像》  
 1635年頃  
 マドリッド、プラド美術館蔵  
 © Museo Nacional del Prado



兵庫県立美術館  
 学芸員 飯尾 由貴子



ディエゴ・ベラスケス  
 《狩獵服姿のフェリペ4世》  
 1632～34年  
 マドリッド、プラド美術館蔵  
 © Museo Nacional del Prado

16世紀から17世紀にかけて、アメリカ大陸など広大な植民地から流入する莫大な富を背景にスペインは一大帝国を築き上げました。その豊かな経済力を基盤として、歴代の国王により未曾有の規模で美術作品の収集が進められ、教会と王権によって美術が奨励された結果、リベラやスルバラン、ムリーリョなど偉大な画家を輩出するとともにヨーロッパ各地から第一級の美術作品がもたらされ、スペインは絵画の黄金時代を迎えました。中でもフェリペ4世の王付き画家として活躍したベラスケスは、スペインにおいて絵画芸術が到達し得た究極の栄光を具現化した存在でした。肖像画であれ宗教画であれ神話画であれ、人間に対する深い洞察に裏打ちされたベラスケスの芸術は同時代のみならず400年を経た現在においても観る者の心を捉えます。

本展で展示される作品は、ほとんどが王室のコレクションであっただけに、質の高さはもちろんのこと、タテヨコそれぞれ2mを超えるかなり大型の作品も含まれます。17世紀のスペイン絵画の黄金時代を堪能していただける絶好の機会です。ご来場をお待ちしています。

※この特別展はみなと銀行文化振興財団が助成しています。

2018年度特別展予定

- ▶ プラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光 ..... 6月13日(水)～10月14日(日)
- ▶ サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法 ..... 10月27日(土)～12月24日(月・振替休日)
- ▶ 現代美術にみるヒーロー&ひとびと (仮題) ..... 2019年1月12日(土)～3月17日(日)